



第69回 岡大サイエンスカフェ

フェスタ
国立大学2018



OKAYAMA
UNIVERSITY

新しい光「テラヘルツ波」で 見えてくる明るい未来

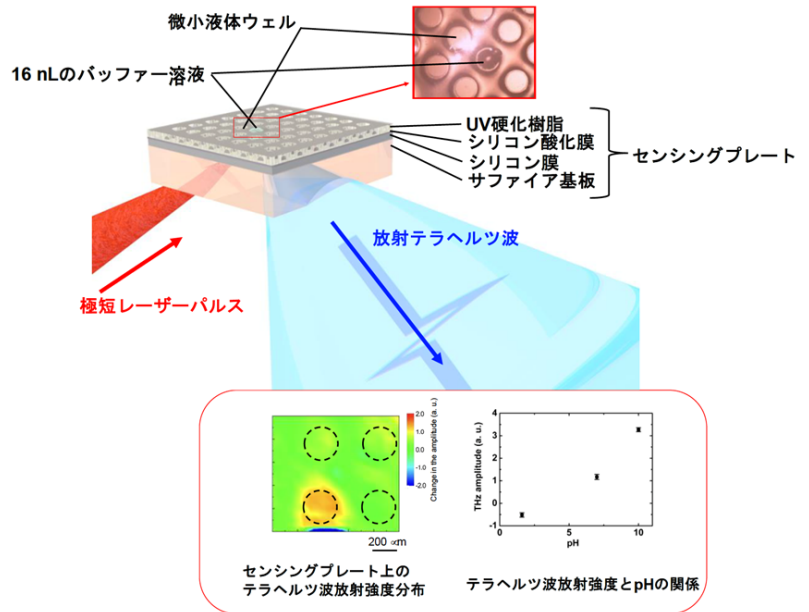
— テラヘルツ波計測システムの開発と応用 —

講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科
准教授 紀和 利彦

“テラヘルツ波”は最近注目を集めている光の一種です。レーザー技術の発展とともに、いろいろな分野での活用がされてきました。例えば、空港での麻薬や爆弾を見つけるボディースキャナーや高速大容量の次世代通信などが考えられています。

岡山大学の私たちのグループでは、テラヘルツ波を使った体の中の微小な物質を見つける独自テラヘルツ波ケミカル顕微鏡の開発を行ってきました。将来、先端医療研究や早期医療診断で必要不可欠な基礎基板技術となると期待しています。

今回は、テラヘルツ波ってどんなもの？どんなことに役立つの？をご紹介します。皆さんと一緒に、「テラヘルツ波の照らす明るい未来」をのぞいてみたいと思います。



テラヘルツ波ケミカル顕微鏡による超微小液体の分析例
(将来、蚊の吸血量の100分の1の血液で、医療分析が実現できるように考えています)

参加者募集

- ◆開催日時
平成30年10月26日(金) 午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館 2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: sciencecafe@okayama-u.ac.jp
http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/event/sciencecafe_02.html
- 氏名・連絡先・車で来られる方はその旨を明記ください
- ◆締め切り 平成30年10月23日(火) 午後5時
- ◆参加費 無料
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 島本・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております
社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも